

(1) 思春期から30歳代における健康支援事業

事業名	パパママ測定事業		
分野	■健康教育	□健康手帳の交付	■健康相談
事業費(千円)	962		

事業目的

若いうちから、主体的に健康づくり行動が取れるよう、子育て中の母親が自分自身や家族の健康管理・健康づくりに対して関心を持ち、生活習慣の改善に取り組む動機付けを行う。

事業対象

保健センター母子保健事業「乳幼児測定日」に来所する母親

事業実施体制・展開

- ① 概要 保健センター母子保健事業「乳幼児測定日」(月1回自由来所形式の測定会。毎月60から100組の親子が参加)に併設し、母親の体重や体脂肪測定を行う「パパママ測定事業」を実施。子ども向けの事業に参加した母親が自分自身のからだの状態を知る機会を提供し、更に健康に関する情報提供を行う。
- ② 内容 希望者に対して、血圧・体重・体脂肪率測定の実施
測定結果説明のほか、生活習慣改善に関する助言を行う
更に、健康講座として、9月、10月は乳がんに関するミニ講座、2月は骨密度測定を実施
- ③ 実施回数 7回(H21.9月からH22.3月)
- ④ 参加人数 参加者157人
- ⑤ 周知方法 乳幼児測定会場にポスター掲示
乳幼児測定日用チラシに「パパママ測定事業」の案内を掲載

事業目標・評価項目 及び その結果

- ① 参加者の状況 40歳未満157人
- ② 測定しようと思ったきっかけ 「子どもと一緒に受けられるから」60% 「体重量体脂肪が気になるから」44%
- ③ 測定後の感想 「自分の身体状況が分かった」80% 「生活習慣を見直すきっかけになった」40%
- ④ 子ども向けの事業で一緒に母親向けの講座や測定を実施することについて
「もっと多く実施してほしい」20% 「あれば便利」72%
- ⑤ 参加者の意識の変化 2回目以降の参加者 「検診結果を見るようにした」2人
「家族の生活面も気をつけるようにした」1人 「食生活が変化した」1人 「特に変化なし」3人
- ⑥ 利用率推移 乳幼児測定日に参加し、パパママ測定事業への参加を希望した母親の割合は、初回は16%であったが、月平均33%になった。

事業の工夫点

平成 20 年度より若年層へのアプローチ方法として、母子保健事業と成人保健事業を行っている保健センターの特徴を活かした事業を展開。子どもの健康には関心をもつ母親に対して、子どもの事業と同時に母親の健康に関する講座や相談が受けられるよう、乳幼児測定日に併設し「パパママ測定事業」を実施

事業の効果についての評価・考察

従来、健康講座や相談事業への若年層の参加率は低かった。若年層や子育て中の人々が講座に参加しない理由は、「子どもがいるから外出しにくい」68.7% 「忙しいから」46.7% 「自分で情報を集めるから」17.3%（2009 年八王子市乳幼児健診における女性の健康意識調査より）であった。しかし子育て中の人々は、子供の健康に関する講座などへの参加は多い。パパママ測定事業アンケート結果からも、子ども向けの事業と併設した母親向けの講座は、「あると便利」と答えた人が7割いた。このことから、若年層を集める講座の企画ではなく、母親達が集まる場所や機会を活用した講座の企画をし、正しい情報提供を行っていくことが有効と考える。

今後の課題

今後より集客率を上げ、事業効果を上げるために、テーマ、周知方法、事業内容の工夫、「乳幼児測定日」だけでなく他の母子保健事業との併設、市全体への展開が今後の課題である。

ホームページ	http://www.city.hachioji.tokyo.jp/hoken_iryu/023382.html
照会先	東京都 八王子市 健康福祉部 保健センター

事業評価	(企画評価委員会で評価)	
①活動内容	4	健康に無関心な若年層に対して、情報提供を効果的に行うことができた
②独創性	3.5	従来保健センターで行っている事業内容であるため、独創性は低い
③普遍性	4	保健センターで行っている他の母子事業への展開が可能である
④将来性	4	今後より効果的な事業運営のため、実施内容やテーマを検討していく必要がある
⑤効果度	4.5	母親向けの健康情報提供の場として、集客効果がある
⑥信頼度	4	保健センター実施主体の事業である

